

新たな扉を開く岐阜経済大学で、可能性を見つけてください



学長 山田 武司

岐阜経済大学が創立されたのは1967年（昭和42年）になります。本学は、自治体、経済界、教育界の熱意により社会科学系の公設民営大学として始まり、「地域に有為の人材を養成する」ことを教育目的に掲げています。創立当初は経済学部経済学科の単科大学でしたが、学部学科の新設や改組を経て50周年を迎えた現在は、経済学部には経済学科と公共政策学科を、経営学部にはスポーツ経営学科と情報メディア学科を、さらに、大学院経営学研究科、留学生別科を擁する総合大学となっています。

また、今年度は、新体育館、新食堂、新2号館の建設や50周年記念式典（6月1日）の開催など、「re-Birth 西濃学園都市に新たないぶきを起こす」スタートの年でもあります。さらに、大垣女子短期大学との法人合併による、新たな「学校法人大垣総合学園」のスタートの年でもあります。

このように、「次なる50年に向けた新たな扉を開く年」に入学された新入生の皆さんを、心から歓迎いたします。

さて、大学に入学するとはどういうことでしょうか。皆さんは、さまざまな夢や希望をもち本学に入学をされたと思います。しかし、疑問や不安もあるのではないのでしょうか。

大学で何を学んでいけばいいのか？ 授業はどのように受ければいいのか？ 卒業するためには？ どんな資格が取れるのだろうか？ 一般図書だけでも約33万冊もある図書館やパソコンの利用は？ 卒業後の進路（就職）に向けてどうすればいいのか？ さらに、学生生活の中での課外活動やボランティア活動、健康や悩みごとへの支援など、大学生活の案内がこの一冊に収まっています。皆さんはこの一冊を道しるべに、4年間を歩んでいってください。

ただし、この一冊で全てがわかるわけではありません。大学のホームページには各授業の内容（シラバス）が詳細に書かれています。また、大学のホームページや岐阜経済大学マガジン「GKU NOW!」、コミュニティペーパー「飛翔」にはさまざまな情報が発信されています。そして、休講やお知らせなどを日々確認するのは3号館にある「掲示板」です。

「大学に入学するとは」という最初の問いに戻りますが、皆さんが大人として自分の意志で学び、研究し、そして、仲間やさまざまな活動の中で、将来に向けての自分の可能性を見つけていくことではないでしょうか。自分の可能性に向かって歩みだした皆さんを、私たち教職員はサポートしていきます。